

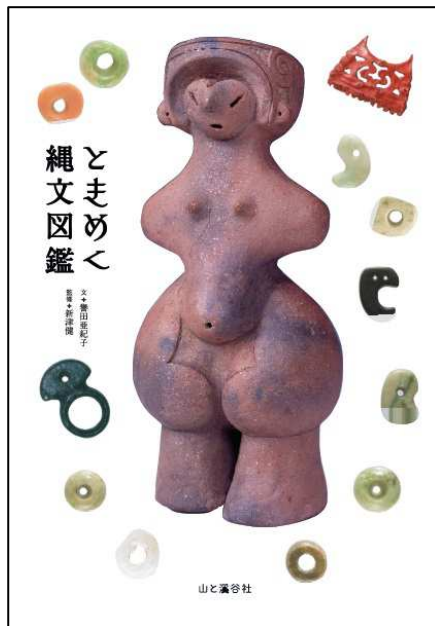
各位

2016/12/9

株式会社 山と溪谷社
<http://www.yamakei.co.jp/>

土偶・土器・装飾品・道具…85点以上を紹介。

縄文時代の人々の暮らしと心を感じられる書籍『ときめく縄文図鑑』刊行

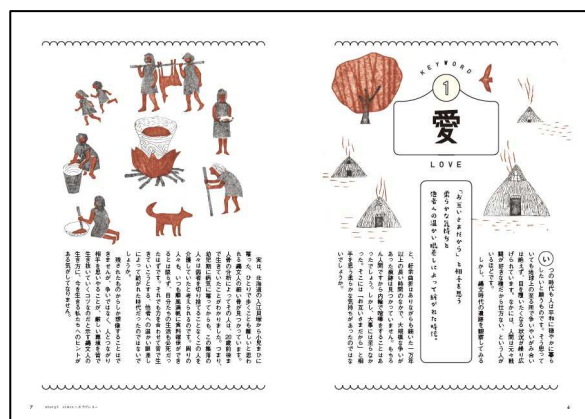


インプレスグループで山岳・自然分野のメディア事業を手がける株式会社山と溪谷社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：川崎深雪）は、12月9日に『[ときめく縄文図鑑](#)』を刊行しました。

大好評「ときめく図鑑」の新ラインナップ「ときめく図鑑+（プラス）」第三弾は「縄文」がテーマ。本書では、今から約1万5000年前から約2300年前まで、少なくとも1万年以上続いた縄文時代の遺物を多数紹介します。

全国各地の発掘調査で掘り起こされた土偶や土器、そして暮らしの道具、装飾品の数々は、不可思議でいて、心ときめかされる造形のものが多いです。本書は、そのような遺物から、彼らの生活や感性を感じ、縄文人に近づくことが出来る1冊です。

遺物を紹介した図鑑ページのほか、縄文時代を知るための体験ページや、現代の作家による縄文グッズページなど、縄文時代の多くの魅力を紹介しています。



<書籍詳細>

総128ページ (4C)・A5判・並

定価：1,600円＋税

2016年12月9日発行

<https://www.yamakei.co.jp/products/2816202360.html>

<著者プロフィール>

著者 譽田亜紀子 (こんだ・あきこ)

岐阜県生まれ。京都女子大学卒。広告代理店、通信販売の会社を経てライターに。奈良県橿原市の観音寺本馬土偶に衝撃を受け、土偶界へ足を踏み入れる。現在はトークイベント、テレビ、ラジオ出演、新聞連載などを通じて、土偶そして縄文時代について情報発信などを行う。著書に『はじめての土偶』(2014年/世界文化社)、『にっぽん全国土偶手帖』(2015年/世界文化社)。

監修者 新津健 (にいつ・たけし)

山梨県生まれ。上智大学大学院修士課程史学専攻修了。山梨県立考古博物館副館長、山梨県埋蔵文化財センター所長を歴任。現在は世界文化遺産富士山の調査・普及、各地の文化財審議委員など文化財の保護・活用に関わっている。著書は『猪の文化史』考古編・歴史編(雄山閣)等。

【山と溪谷社】 <http://www.yamakei.co.jp/>

1930年創業。月刊誌『山と溪谷』を中心に、国内外で山岳・自然科学・アウトドア等の分野で出版活動を展開。さらに、自然、環境、エコロジー、ライフスタイルの分野で多くの出版物を展開しています。

【インプレスグループ】 <http://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社：東京都千代田区、代表取締役：唐島夏生、証券コード：東証1部9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「山岳・自然」「モバイルサービス」を主要テーマに、専門性の高いコンテンツ+サービスを提供するメディア事業を展開しています。

以上

【本リリースについてのお問い合わせ先】

株式会社山と溪谷社 担当 宇川
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング
TEL03-6744-1911 メール:info@yamakei.co.jp